

令和元年度 第1回可児市景観審議会議事録

- 1 開催日 令和元年10月31日(木) 開会時間 午後2時
閉会時間 午後3時50分
- 2 開催場所 庁舎5階第1委員会室
- 3 出席委員 景観審議会委員
松本 直司(会長)
亀井 栄治(副会長)
伊藤 栄一(副会長)
力石 克己
呉本 勝男
金子 雅臣
義村 晃
平野 昌子
林 厚子
中根 範子
本松 金三
三宅 佐智子
可児 幹祥
谷口 新二
安在 清子
- 4 事務局 可児市長 富田 成輝
都市計画課長 渡辺 聡
都市計画課 総務係長 杉山 尚示
都市計画課 主事 川原 侑馬
都市計画課 沖中 由美
- 5 会議内容 議事
議題第1号 可児市景観審議会の役割について
議題第2号 可児市景観計画・景観条例について
報告第1号 平成30年度景観まちづくり施策の取組み状況について
協議第1号 可児市の景観について
その他

6 会議の詳細	次のとおり
渡辺都市計画課長 (以下「渡辺課長」)	(開会を宣言)
渡辺課長	景観条例第 27 条における会長・副会長の設置について諮る。
可児委員	事務局一任。
一同	(了承)
渡辺課長	会長は松本委員とし、副会長は会長から指名することを決定した。
松本会長	会長の挨拶。 副会長は、伊藤委員と亀井委員を指名した。
富田可児市長	審議会開催にあたり挨拶を行った。 (市長から各委員へ委嘱状の交付)
杉山係長	答申事項がないため、議事録署名人の指名なしとし、事務局による記録を行うことの報告をした。
渡辺課長	進行を松本会長に委ねた。
	議題第 1 号 可児市景観審議会の役割について
松本会長	議題第 1 号の議事について 事務局へ説明を依頼した。
川原	議題第 1 号 可児市景観審議会の役割について 説明した。

議題第 2 号 可児市景観計画・景観条例について

松本会長

議題第 2 号の議事について 事務局へ説明を依頼した。

川原

議題第 2 号 可児市景観計画・景観条例について 説明した。

松本会長

1 1 年目を迎えて景観計画の見直しや景観形成重点地区の指定、景観重要樹木・景観重要建造物の指定、眺望地点、屋外広告物の問題、無電柱化、太陽光発電等についても考えていく必要があると思う。

伊藤副会長

可児市景観条例、景観計画が出来たことで市の景観維持、発展の大きな力になったと認識している。しかし、同時に 10 年間という期間の中でなかなか運用ができていない部分もあると思う。時間の経過とともに再度考えなければいけない部分も出てきていると思う。市民の皆様には周知をしていく、意識を持っていただくということが十分に浸透しているか、という点ではまだまだ力不足を感じているところ。10 年という区切りの中で、市の景観がより良くなる方向で皆様とともに歩んでいけるように改善をしていく、そんな時期なのかなと実感している。

情報提供として、下呂市は今年 4 月 1 件重要樹木の指定をおこない、岐阜市も現在検討をしている。

亀井副会長

短いようで非常に長い 10 年だと思う。計画策定当時は、可児駅前も整備がされる前だった。計画策定後整備がされて、様々な施設が整っていった。かなりの変化が起きてきたと思う。一方で計画は立てたままの状態になっている。我々のまちを見直す、ということからしていかなければならないと思う。少し手直しすることがあれば、もう少し短いスパンでその都度やっていくのが良いかもしれないが、今回 10 年という区切りの中でまちの様相に合わせていくことが必要だと思う。

松本会長	景観計画はいつでも変えることが出来る。
力石委員	<p>加茂郡八百津町の出身で20歳ぐらいまで八百津に住んでいた。名古屋方面へ通う際、いつも名鉄電車の中から昔の可児町を見ていた。遠くにボーリング場が田園の中にあるのが見えていたが、やがて建物がいっぱい建ち見えなくなってしまった。急激に発展し利便性は良くなったと思うが、失っていったものもあると思う。今あるものを維持していくことも非常に大切だと思う。</p>
呉本委員	<p>景観を守る、また、まちの中心をつくる景観も必要だと思う。いくつかお話したい。大萱の地区に陶器の先生方が大勢みえる。大萱、小萱の地区にあまり大きな建物を建てさせない、今ある景観を保存していく、非常に眺めが良く気分が良いので街並みを保存していくこと。兼山というまちは何で売っていくかというと、今回山城サミットがあるが美濃金山城を中心に、兼山の観光交流館の近くは江戸時代東濃地方の商業の拠点であった場所であり、兼山の生きていく方向で建物を保存していく方法もある。電柱の地中化について考えて、可児市の中心はどこだろうか、と考えるとやはり市役所の前の方、ボーリング場があったあたりが可児市の中心だと思う。この中心地をつくるためには電柱の地下化、これも景観を守る、まちの中心地をつくるということで逆発想の部分で必要だと思う。太陽光パネルについては、山にバツとはってあるのは非常に景観を崩す。これは何か制限をしていきたい。大きな工場の屋根の上にあるのは仕方ないかもしれないが、田畑や山に並べるようなものを何か制限するまちづくりが出来たら良いと思う。</p>
松本会長	電柱が埋まると良い。外からみていると、可児市は中心がよく分からない。
呉本委員	電柱を地中化すれば、昼夜の中心地になっていくと思う。

金子委員	久々利は農業の振興地域に指定がされている。県道や市道の法面について、それぞれの田んぼの所有者が上側を刈るのが昔から習わしのように、各自草刈りをしている。各自事情もあるが、もし一斉にやることが出来ると非常に綺麗になると思う。
松本会長	景観というモノをつくることばかりに注目してしまうが、住民の活動についても考えていく必要がある。
義村委員	様々な観点から意見を出していきたいと思う。のどかな田園地域の中に、耕作放棄地があるのは見栄えが悪いと思う。
平野委員	マーノ近くの交差点が、木が枯れたままになっている。駅から降りてきたメインの樹木が枯れたままになっている。そこを何とかしたいと思い、先日マーノの方と話をさせていただいた。小さな活動ではあるが、街並みが美しくみえるように活動をしている。以前まちづくり協議会に参加させていただいたことがあるが、市民の方々に参加していただけるような活動をしていきたい。
可児委員	市民生活に欠かせない看板、広告はあるが、景観にそぐわないものもある。皆様からの貴重なご意見については、今後の組合活動にも反映させていきたい。
林委員	現在、花フェスタ記念公園では秋のバラまつりを開催している。他県からおみえになるお客様が可児・御嵩 IC をご利用になられるが、非常に草が多い。あの辺りの草刈りは誰がするのだろう、と感じていた。ひとりの力ではなかなか綺麗にすることは出来ないが、ボランティアの力を借りることも大事だと思う。
松本会長	景観計画のなかで、住民で草を刈ることを奨励することが出来るかもしれない。

<p>渡辺課長</p>	<p>可児・御嵩 IC 近辺については、ネクスコ中日本、国土交通省が管理している場所があり、例年地域住民の方からも草の管理をするようにとお叱りを受けている。毎年国土交通省、ネクスコ中日本にお願いをしている。毎年継続してやっていくべきところ。フェンスがあり住民の方々が入っていくことは難しいが、綺麗にさせていただくようお願いをしている。</p>
<p>松本会長</p>	<p>みんなで綺麗にしていくという精神は持ちたい。</p>
<p>本松委員</p>	<p>広島県福山市鞆の浦の出身で、住んでいる者からすると渋滞問題等があり景観を求めて住み良いまちづくりというのは非常に難しいと感じているが、可児に住みだして9年程非常に住みやすく恩恵を感じている。心配なのはこの先、人口が10万人のなかで約8千人が外国人の方がおみえで、多文化共生の中でうまくいっている地域だと思うが、ごみ問題があると感じる。今渡や土田地区について、定期的に粗大ゴミを回収して苦慮されている方にお会いしたときに、中長期でそうした問題を無くしていこうとしたときに、親世代は当然だが今から住み続ける子供世代への教育、認知が必要だと感じた。</p> <p>今年 JC で取り組んでいるのが SDGs の推進。ゴールナンバーの中に「住み続けられるまちづくりを」「資源をつくる責任つかう責任」がある。2030年までの行動目標なので、有効に使いながらやられると良いと思う。</p>
<p>松本会長</p>	<p>景観教育について、まち全体の中で入れていくことも出来る。市民の方に対し景観について学ぶことが出来る機会を設ける。市民向けのことを計画していくことも1つの方法。</p>
<p>中根委員</p>	<p>花いっぱい運動が年2回あるので、住居周辺はその清掃活動で綺麗になっている。久々利は大事なところだが、これからリニアが通る。安土桃山街道という道路があるが、あの道路がかなり傷んでくるのではないか、あのあたり一帯が傷んでくるの</p>

中根委員	<p>ではないかと多少ピリピリとしている。自治会の方が話される通り、守っていかなければならない所を守っていこうとしている。可児陶芸協会は清掃活動にも取り組んでいるが、皆さんと提携して取り組めると良いと思う。</p> <p>可児市は歴史の真ん中にあるまちだと思っている。来年は大河ドラマ『麒麟がくる』も始まる。可児に息づいている陶芸も大事だと思う。</p> <p>太陽光パネルについては、自然を守るために考えていかなければならないことだと感じている。</p>
松本会長	<p>文化財の側から様々な意見をいただければと思う。</p> <p>荒川豊三資料館のあたりも通ると聞いている。</p>
中根委員	<p>あのあたりは地下を通らず、表に出てしまう。</p>
松本会長	<p>出方が良いかたちになると良い。</p>
中根委員	<p>良い具合になっていくと良いと思う。</p>
三宅委員	<p>すでに教育についてのお話が出ているが、小学生の頃から考え方を身につけることで、可児市の景観、まちづくりを良くしていこうと思える。</p>
松本会長	<p>これからの若い世代の方に、こういうまちになってほしいという意識を持っていただき、まちを大事にさせていただく、そのサポートをしていく体制が大切だと思う。</p>
谷口委員	<p>市民委員公募の理由にも書かせて頂いたが、太陽光発電のパネルが山一面にベタ張りになっている、休耕田を利用した設置がされている等、コレでもかと、言葉は悪いかもしれないが、一面に景観を若干無視したような形で気になっている。</p> <p>里芋の栽培に関わっているが、休耕田を安くお借りし一般の</p>

谷口委員	方に農園として活用していただいている。そうした活動も大切だと思っている。
安在委員	久々利について気になるのは、空き家や玄関まわりの景観が整っていない家。何とか出来ないだろうかと感じている。自宅では、お花が好きなので、軒先にお花をいっぱい飾っている。ずっと地元にいるので元久々利の景観について特別に意識をしたことは無いが、皆さんが良いところだと言って下さる。久々利城下ぶらり歩きでは500名以上の方がお越しになられ、久々利にこんなまちがあるとは知らなかったとも言われた。少しずつ皆さんに認知していただき、まちを綺麗にしていこうと思う。環境が良いので、新しい方も入って来ている。
松本会長	近代的な新しいかたちの住宅を望まれることが多く、元久々利景観形成重点地区における景観形成基準をうまく機械的に出来ないかなと思う。
呉本委員	花いっぱい運動と同時に、市道県道ぐらいは自分の住んでいるところの自治会で計画して清掃活動を実施すれば相当綺麗になると思う。坂戸に住んでいるが、県道は汚い。まちの美観をつくっていく、その中で可児市の花は薔薇だというのが薔薇はなかなか育ちにくい。可児市の木というのが出来ないだろうかと思っている。1町4市で木曽川の会をつくり毎月例会をしている。木曽川周辺に川の駅づくりをしていこうとしている。花桃5,000本、紅葉5,000本を植える計画もしている。例えば、秋になったら可児市は紅葉が綺麗だと、そんなまちづくりも可児市の景観づくりの1つであり大切だと思う。
伊藤委員	美しさを演出する樹木を入れることについて、地域の自然や歴史的な物語に合わせて皆さんに喜んでいただけるものをつくっていくことは良いと思う。景観の視点から選んでいただいて、そこで可児らしさを表現出来ると良い。

松本会長	太陽光発電については、いくつか県内でも規制が出来てきている。山につくるのはあまり良くないと思う。災害上も良くない。緩い規制でも良いので、何か定めていく必要があると思う。
伊藤委員	沿道の修景についてただ美しければ良いということではなく、皆さんが納得するような物語を持ったものを選んでいただきたい。太陽光パネルについては、規制という方向に向かうのは難しいところもある。土地所有者がそうした方向に行かないような、フォローの仕組みが必要だと思う。農業が立ち行かないから太陽光パネルにしようか、という流れにもなる。土地所有者の権利は日本の法律では非常に強い。土地所有者の方々の理解を得られるような形をつくることで、規制をするというよりも、土地所有者の方々がお断りするような社会的な雰囲気をつくっていかなければ難しいと思う。フォローアップするような仕組みづくりを含めて太陽光発電については考えるべきだと思う。
松本会長	いずれにしても大変重要な課題。決められるかどうかは分からないが1つの論点。
報告第1号 平成30年度景観まちづくり施策の取組み状況について	
松本会長	報告第1号の議事について 事務局へ説明を依頼した。
杉山係長	報告第1号 平成30年度景観まちづくり施策の取組み状況について 説明した。
協議第1号 可児市の景観について	
松本会長	協議第1号の議事について 事務局へ説明を依頼した。
川原	協議第1号 可児市の景観について 説明した。

その他

杉山係長

事務連絡を行った。

渡辺課長

(閉会を宣言)